

平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
大学博物館・美術館を活用したアートマネジメント人材育成事業

博物館は教育の場である

九州産業大学

九州産業大学美術館



事業趣旨

- ①博物館で働く学芸員が地域毎で研修機会を確保できるようにする。
- ②そのために、学芸員養成課程を開講する芸術系大学が主体となり、博物館資料を「守る技術(保存・修復)」「調べる技術(調査研究)」「見せる技術(展示)」「伝える技術(教育普及)」に関する実践的な研修カリキュラム開発に取り組む。
- ③また、次世代の学芸員を目指す学生のための博物館実習技術指導について大学・附属博物館と地域博物館で活用できる地域毎の博物館実習ガイドライン構築を図る。
- ④そして、今後国際的にも遜色のない高い専門性と実践力を備えた質の高い人材育成を図る。

実施した主な事業

- 1 学芸員技術研修会
- 2 国際フォーラム・国際講演会
- 3 九州・京都の大学博物館連携展
- 4 アートキャラバン隊

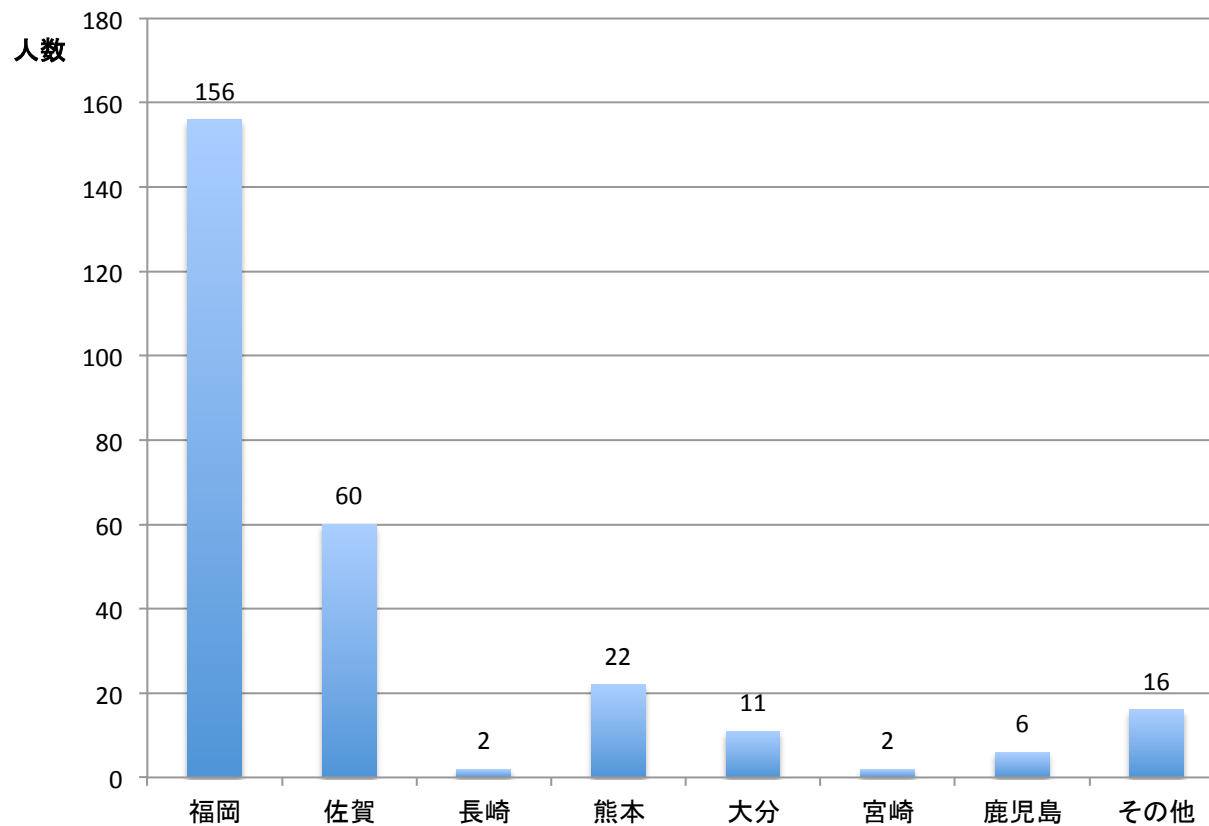
平成25年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

学芸員技術研修会開催要項



現職学芸員を鍛える

学芸員技術研修会の開催(平成26年2月5日~3月8日)

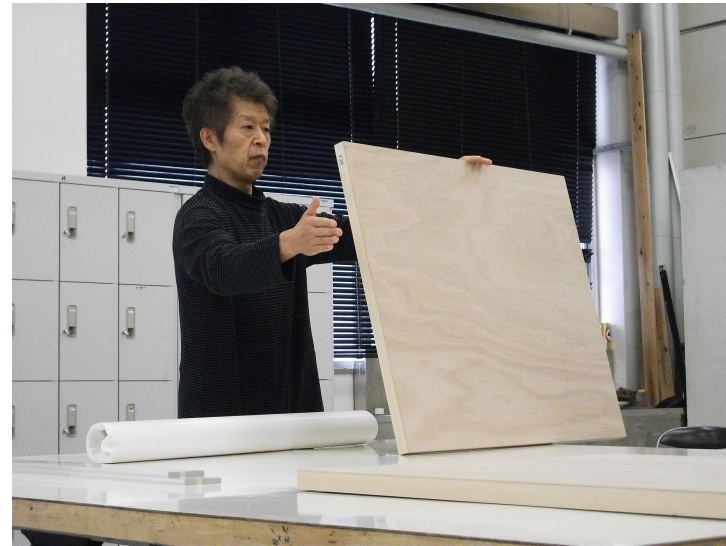


学芸員技術研修会県別参加者一覧表

12回の研修会参加者総計は275名となりました。九州各県はもちろん、北海道、山形、石川、東京、愛知、大阪、兵庫、広島からも参加を得ました。

研修会① 文化財修復

平成26年2月5日(水)～2月6日(木) 九州産業大学
福田 栄一(株式会社福田装錦堂 代表取締役)



- ・今までは工程や習慣として覚えてやっていたことも、一つ一つ意味や理由を考えながらやることで”自分の紙”を作っていけると感じました。
- ・裏打ちをしっかりと学べ、作業の意味、本質を教えてもらいました。

研修会② 展示グラフィック1

平成26年2月10日(月) 九州産業大学

熊谷 淳一(株式会社 ノイエデザイン代表取締役)



- ・予算が無いとあきらめるのではなく、如何に来館者に伝わるポスター、チラシをデザインするかという点です。
そのためには「来館するお客様が求めるものは何か」を意識することが大事だという話を聞いて、少しギクリとしました。

研修会③ 展示グラフィック2

平成26年2月11日(月) 九州芸文館

熊谷 淳一(株式会社 ノイエデザイン代表取締役)



- ・デザインとは「インフォメーションではなくコミュニケーションツール」だという言葉にはっとさせられました。
- ・館のイメージカラー等を決めたいと思います。

研修会④ 展示制作1

平成26年2月13日(木) 佐賀大学

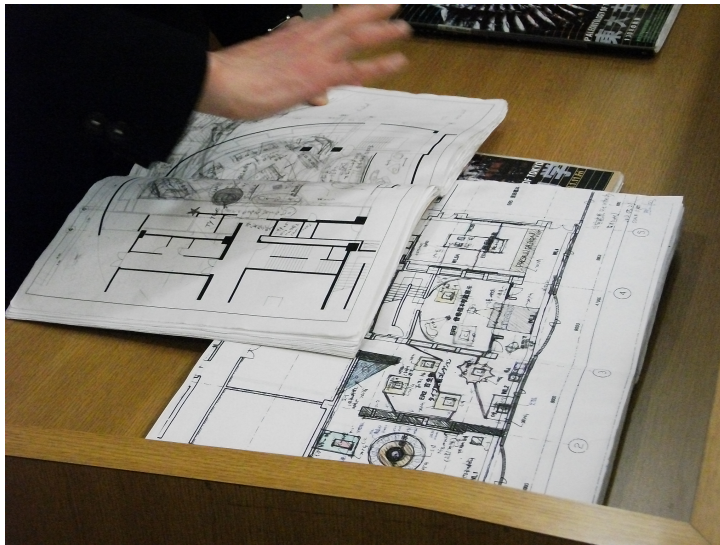
洪 恒夫(東京大学総合研究博物館 特任教授)



- ・展示を考える際の最初の組み立ての考え方を知ることが出来たこと。特にコンセプトについての考え方は勉強になりました。

研修会⑤ 展示制作2

平成26年2月14日(金) 嘉麻市立織田廣喜美術館
洪 恒夫(東京大学総合研究博物館 特任教授)



- ・展示構成をつくるまでに大切なコンセプトを編集すること！
とても参考になりました。
- ・来館者をわくわくさせて、得した気分にするのがとても大事なのだと思いました。

研修会⑥ 照明技術1

平成26年2月17日(月) 佐賀県立博物館・美術館

藤原 工(株式会社灯工舎 代表取締役)



- ・実際の作品を教材にして実習できたこと。作品ごとに照明のコンセプトを考えるとすることは新鮮な体験でした。
- ・照明の当て方の具体的な例を知ることができたこと。
また、LEDについて知ることができてよかったです。

研修会⑦ 照明技術2

平成26年2月18日(火) 九州産業大学
藤原 工(株式会社灯工舎 代表取締役)



- ・作品の魅力を考え、それを引きだせるように様々な種類のライトを組みあわせる方法を学ぶことができました。
- ・LEDのことをくわしく知ることができたことと、作品ごとのより良いライティングが勉強できました。

研修会⑧ 樹脂を活用した標本作成の技法

平成26年2月19日(水) 九州産業大学

三橋 弘宗(兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師)



- ・ただ見せるだけでなく、様々な活用法が見出せそうなので考えていきたいです。
- ・標本をただの展示物としてではなく、教材として活用していくにはどのような方法があるかなどを知ることができました。

研修会⑨ 博物館科学・経営

平成26年3月4日(火) 九州国立博物館

佐野 千絵(東京文化財研究所保存修復科学センター 保存科学研究室長)

山西 良平(大阪市立自然史博物館 館長)



- ・フィルムの保存について基礎的な知識が得られ、保存していくことの具体的な方法を見出せました。博物館の運営や経営についても、様々な知識を得ることができました。

研修会⑩ 博物館科学・デジタルアーカイブス

平成26年3月5日(水) 佐賀大学

佐野 千絵(東京文化財研究所保存修復科学センター 保存科学研究室長)

内田 剛史(株式会社早稲田システム開発 代表取締役)



- ・陶磁資料に対する湿度を中心とした影響、リスクについて以前から不安に思っていたことが明確になり、とても参考になりました。
- ・ミュージアムITの将来性について考える契機になりました。

研修会⑪ 博物館人材教育

平成26年3月6日(木) 西南学院大学

湯浅 万紀子(北海道大学総合博物館 准教授)



- ・西南学院大学と北海道大学の具体的な実践、特に大学博物館を使ってどのような教育ができるかの例を知ることができてよかったです。
- ・ユニークな企画やグッズなど聞いたことが良かったです。博物館でこういう体験ができるプロジェクトは楽しそうで参加してみたいと思いました。

研修会⑫ ユニバーサルミュージアム

平成26年3月8日(土) 福岡市博物館

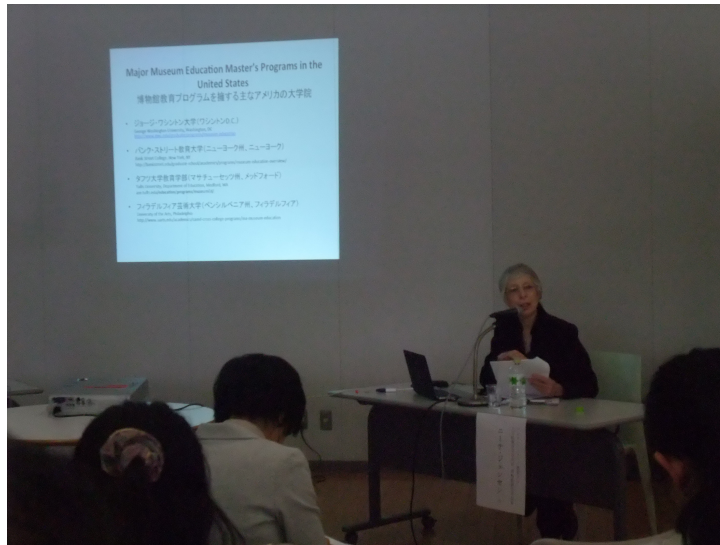
黒沢 浩(南山大学 教授)



- ・ユニバーサルミュージアムは正解がないこと
学芸員側がユニバーサルだのハンズオンだのいろいろ考えても、
お客さん側からしたら嫌なことであったりする等、様々な視点からの考え
を聞くことができよかったです。

国際フォーラム

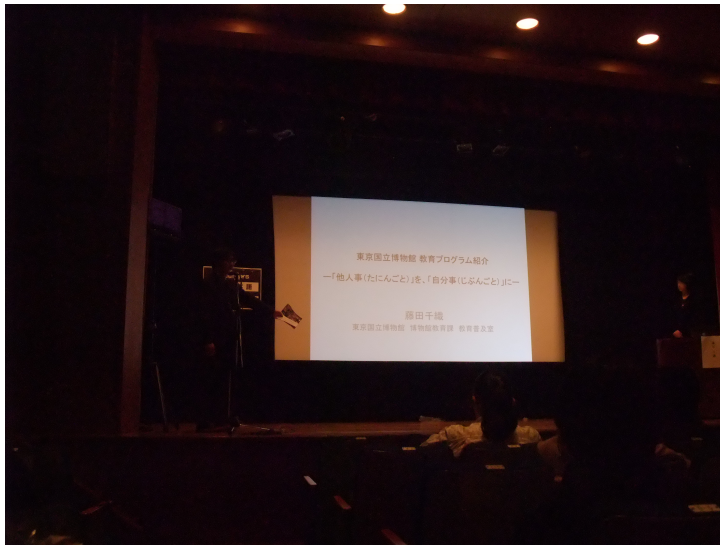
平成26年2月26日(水) 九州産業大学
ニーナ・ジェンセン(バンク・ストリート教育大学教授)
緒方 泉(九州産業大学美術館教授)



- ・日本の現状と日本が米国から何を学べるのか良く考えられたプログラムでした。時間割もよかったですと思います。
- ・ディスカッションで学生教育に対する熱心な取り組みの説明があり、心打たれた。

国際講演会

平成26年2月27日(木) 福岡市美術館講堂
ニーナ・ジェンセン(バンク・ストリート教育大学)
鈴木 忠(白百合女子大学) 鬼本佳代子(福岡市美術館)
藤田千織(東京国立博物館)
〈司会〉緒方泉(九州産業大学美術館)



- ・学び手の心をつかみ、心を動かすことで「他人事」を自分事に変えるという話が印象的でした。
- ・「良い授業を行うために博物館は何が出来るか」。学校が求める、先生が求める、子どもが求めるものを具現化していきたいです。

京都

- ① 大谷大学博物館
- ② 京都外国語大学国際文化資料館
- ③ 京都教育大学教育資料館
まなびの森ミュージアム
- ④ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
- ⑤ 京都嵯峨芸術大学附属博物館
- ⑥ 京都市立芸術大学芸術資料館
- ⑦ 京都精華大学ギャラリーフロール
- ⑧ 京都造形芸術大学芸術館
- ⑨ 京都大学総合博物館
- ⑩ 同志社大学歴史資料館
- ⑪ 佛教大学宗教文化ミュージアム
- ⑫ 立命館大学国際平和ミュージアム
- ⑬ 立命館大学アート・リサーチセンター
- ⑭ 龍谷大学龍谷ミュージアム



九州

- ⑮ 九州産業大学美術館
- ⑯ 九州大学総合研究博物館
- ⑰ 西南学院大学博物館
- ⑱ 佐賀大学美術館

大学間連携を強める

九州・京都の大学博物館(18館)が連携する展覧会の開催

ようきんしゃったねー 大学は宝箱！ —京都・大学ミュージアム連携出開帳 in 博多

平成25年10月8日(火)～10月26日(土)

九州産業大学美術館



シンポジウム「連携のカー大学ミュージアムの可能性」

平成25年10月6日(日) 九州産業大学

京都外国語大学国際文化資料館館長 南博史
立命館大学国際平和ミュージアム学芸員 兼清順子
九州大学総合研究博物館副館長 岩永省三
西南学院大学博物館学芸員 安高啓明
〈司会〉九州産業大学美術館教授 緒方泉



博物館と学校をつなぐ

九州産業大学美術館
アートキャラバン隊は、
図工の時間を
デザインします。

リアルに描けた!
うちの子すごい!
これは授業につかえるぞ!

九州産業大学美術館 検索

九州産業大学美術館 KIU 九州産業大学 文化庁

平成 25 年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

九州産業大学アートキャラバン隊の派遣

九州産業大学アートキャラバン隊

平成25年10月16日(水)
福岡県福智町立伊方小学校6年生

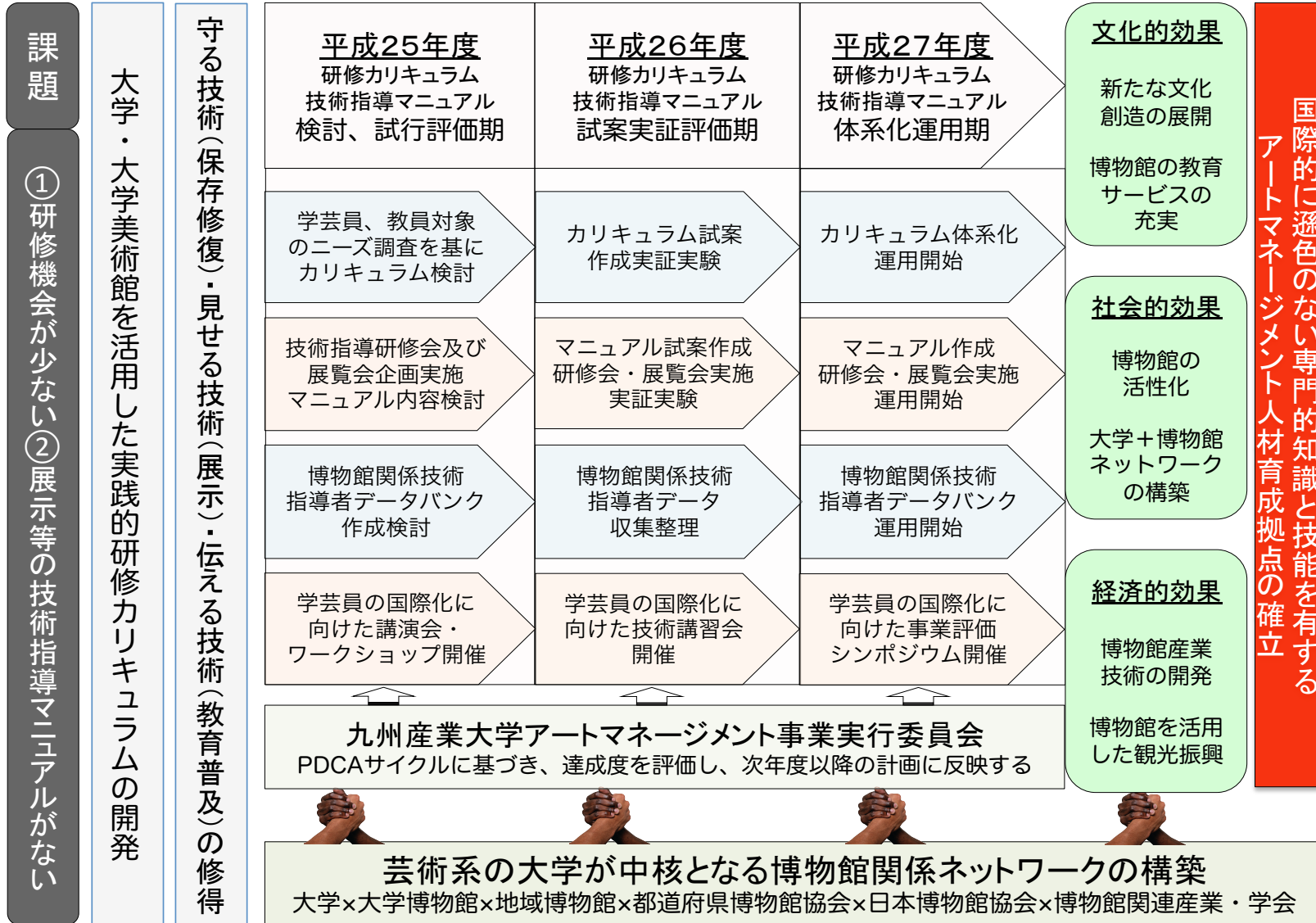


学生リーダー（教師役）の声
子どもたちに伝わっているのか、すごく不安でした。しかし、最後に「絵を描くの、楽しかった？」と聞くと、「うん！」と答えてもらったので、とても嬉しかったです。

児童の声
むずかしかったけど、大学生が丁寧に教えてくれたので楽しかったです。目や鼻、口、髪の毛に立体感をもたせる描き方が分かりました。

* 九州産業大学アートキャラバン隊事業は佐賀県立有田工業高校でも実施しています。

事業構想と将来計画（九州産業大学：大学博物館・美術館を活用したアートマネジメント人材育成事業）



平成25年度採択を受けた本事業であるが、平成26年度は残念ながら不採択となった。しかし、国際的に遜色のない専門的知識と技能を有するアートマネジメント人材育成は我が国の博物館界の課題であるため、今後とも学芸員養成課程を有する大学は地域毎に連携しながら事業の継続を模索していく必要がある。